

神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲揚しましょう。
皇紀2681年
一 阜 月 一
6 月 号

発行所 道場
生長の家 両丹 497 番地
舞鶴市字北吸
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎「自然と共に伸びる運動」の実現のため、神においてすべて一体の宗教心を多くの人に広げよう！
◎第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



良心を引き出す(抜粋)

生長の家白鳩会総裁 谷口 純子

人間が幸福を求めることは当然で、何も問題はない。けれどもその幸福が誰かの生活を犠牲にし、食糧を奪っているとしたら、それは他の人の生きる権利を侵していることになる。物事の背後に何があるかを知らないで、人間は大きな罪を犯すのだ。もしそれが悪いことで、人を犠牲にしているかもしれないとの自覚があれば、人間の中にある良心が働き、自制するのである。知ることはとても大切な。

肉食を減らし、可能な限り有機食品を利用し、地産地消を心がけよう。温暖化の原因になる生活を慎もう。自分以外の人のことも考えよう。すべてできなくても、これらの一つでも二つでも自分でできることをすることにより、確実に世界は変わる。

世界の平和というのは、一人一人が自分の行動が誰かの犠牲の上に成り立っていないだろうかと顧みることでも得られる。これは簡単ではなく難しいから、世界に争いが絶えないのである。良心の声に耳を傾ける習慣が、平和な世界をつくるのだ。

(新刊書『森の日ぐらし』四七〜四八頁)

すばらしい「ノンロック・リレー」

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

四月一七〜二〇日、二四〜二六日の計七日間にわたり、プロジェクト型組織によるイベント「ノンロック・リレー」が開催されました。ご存知のようにこのイベントは、生長の家が取り組む脱原発(No Nuclear)、自然エネルギーの利用などによる低炭素(Low Carbon)のライフスタイルの大々的な普及を目的として、山梨県の「森の中のオフィス」から福島県の「生長の家福島・西郷ソーラー発電所」までの距離六九一キロを、自転車に乗った各地の信徒七九名がバトンを繋いでリレーしたものです。そしてなんと使われたバトンは総裁谷口雅宣先生のクラブト作品「観音棒」であり、総裁先生と白鳩会総裁谷口純子先生も最終走者を務められたのでした。さらにこのイベントはインターネットを利用してライブ配信され、日本だけでなく台湾や北米など世界各地からも応援が届くなど、本当に感動的なイベントとなったのです。京都第二教区からも連日、沢山の応援のメッセージが届けられました。皆様、ありがとうございました。

さて、その「ノンロック・リレー」最終日の帰着式における総裁先生のご挨拶が、プロ

グ『唐松模様』で紹介されていますので、是非お読みいただきたいと思えます。今回のイベントは、前記の目的の他にも、重要な意義があったことを総裁先生がご教示くださっているからです。例えば今回のリレーのバトンは、なぜ「観音棒」なのか。先生の配信された動画をご覧になった方も多いと思いますが、このバトンには観音さまが彫られており、その額にあたる部分には三角形があるのです。三角形と聞いて何かを思い出しませんか。そうです「ムスビの働き」です。実は、リレーの出發式において先生は「観音さまの重要な働きの一つはムスビである」とご教示くださいました。そして、帰着式では、その三角形を刻んだ「観音棒」がバトンとして人から人へとつながれていく象徴的意味を、次のようにお説きくださったのです。

これは多くの信仰者が同じ信仰を受け取り、次に渡しながら「ムスビの働き」を広げていく活動を進めていく、ということなのです。今、全世界で、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって神社や教会、モスクでの行事やお祭りが制限されていて、生長の家も例外ではありません。しかし、信仰の受け渡し、真理の拡大は、ある方法が制限されたならば、別の

方法で遂行することができるとのことです。それを今回、私たちは実際に証明しました。

(総裁先生ブログ『唐松模様』二〇二一年四月二六日)

コロナ禍で長い間、誌友会などの対面による行事が中止され、行動の自粛が求められている今、「これでは生長の家の活動ができない。集まってはだめか」とのお問い合わせをよくいただきます。集まってお互い持ちをたいへん尊く思うものです。しかし、私たち生長の家は、国や府の感染防止対策には、しっかりと協力していきます。そして、先生のご指導にある通り、従来の方法が制限されたら、それにいたらずに固執することなく、別の方法も考えようではありませんかということなのです。皆でどこかの会場に集まらなくても、既に私たちには「ネットフォーラム」が与えられ、沢山の講話ビデオが公開されており、一緒に学ぶことが可能となっています。そして今回、インターネットの利用により、これまで個々に行われていた伝道が、世界中の仲間の応援やアドバイスをいただきながら行うことができ、また一方ではそこから大きな感動や力を分け合うこともできることがわかったのです。また、遠く離れたところでも、化石燃料に依存することなく、教えが届けられることも確認できました。こうして私たちの活動についても色々な可能性を証明してくれた今回の「ノンロック・リレー」は本当に素晴らしい意義あるイベントだったと感激しています。また別の機会に詳しく紹介させていただきます。

「手作りの雛人形」

青年会事務局長 渡利 あすか

私が丹後の祖母の家に住み始めてから十五年ほどになりますが、その頃からずっと仏間の片隅に置いてあった雛人形は紙で出来ています。お内裏様もお雛様もその隣に添えられた灯籠も、すべて和紙などで作られています。ずっとそこにあったのに、今まで意識することもなく、部屋の風景の一部として見過ごしてきました。生長の家でクラフトなどを楽しむようになったタイミングで、部屋の片付けをしていた時に偶然見つけたものです。とても可愛らしく、手作りの暖かみがあります。お店に並ぶ立派なお人形も素晴らしいですが、それに負けない魅力です。せっかくなので素晴らしい作品なので、神様が「ここにこんな素敵なものがあるよ」と教えてくれたのかもしれない。あのまま部屋の片隅に埋もれさせずに済んで良かったと思います。紙だけの手作りですが、こんなに素敵なものが出るのですね。



私のエコ生活

寸村 幸枝

昨今、マイクロビーズといつて五ミリ以下のプラスチックが問題となっています。「捨てられたペットボトルやゴミ袋が海底に眠り、海の小さな生物がプラスチックを取り込んで、それが食物連鎖で魚や海鳥に取り込まれ、そして人間にも。昨年オーストラリアの研究グループで日本人を含む世界八か国の人の便からマイクロプラスチックが検出されたとのことです。

私は一人一人が分別するしか手立てはないと思ひ、天然素材の安全な物を選び、少し高いですが環境にやさしいものを購入しています。道場の掲示板の近くにたまたま弁当箱などのプラゴミが捨てられていることがあります。美しい地球を後世に残せるようにこうした小さなことを積み重ねていきたいと思ひます。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。地方講師・光明実践委員の皆様には、「世界平和」と「自然と共に伸びる運動」の実現のためにご尽力頂いていますことを心より感謝申し上げます。講師の皆様方には、インターネット環境にも慣れていただき、ネットフォーラム研修会が開催されて一年が経ちました。現況では、対面での研修会は中々難しいですが、総会資料の中にあります京都第二教区地方講師会の活動計画に取り組み、実践して参りたいと思ひますのでどうぞ宜しくお願い致します。

行事のご案内

令和三年六月度地方講師・光明実践委員研修会ネットフォーラムのご案内
日 時：令和三年六月二十七日(日) 十時～十時五十分

テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻(基礎編) 中巻(実践編)、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』『生長の家』機関誌

当月号、普及誌三誌No.137(七月号)

※活動報告書は新しい用紙で、毎月十日までに提出してまいりますようお願い申し上げます。

※令和三年度の地方講師会費三千円の納入をお願い申し上げます。

谷口純子先生著 『森の日ぐらし』





「“新しい文明”の基礎を作るための生長の家ネットフォーラム」が、4月9日(金)～4月30日(金)まで、生長の家公式サイトでオンデマンド配信されました。各自で視聴出来ない方のために総連へ訪問し、3密を避けて視聴しました。その後、4月17日より再度コロナ感染防止対策に協力するため、各自で視聴して頂く事となりました。今後、状況が変わりましたら、対応のご連絡を致します。



6 月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

合掌、ありがとうございます。コロナ感染拡大防止対策が始まってから、生長の家の教えを学ぶ私達は、ネットフォーラムというスマホ、パソコンを利用して真理を学ぶことになりました。しかし、その方法で全ての方が教えを学べる状況ではありません。皆様が平等に学べるのは、教えの原点である文章伝道だと思います。Facebookを通して真理を学ぶことは出来ますが、月に1回の普及誌で両総裁先生、谷口雅春先生、清超先生のご文章を拝読して、心を癒しています。又、沢山の体験談からは、改めて教えを生活に活かすことの大切さを教えて頂き、参加させてもらっています。その他には、俳壇、短歌、絵手紙ポスト、読者のページ等の投稿では、五感を使って楽しむという行が出来ます。このご時世、ネットが普及し、ネットの取り組みが必須になって来ていますが、今一度普及誌に触れて頂き素晴らしさを再認識して頂きたいです。その思いをどなたかに、知り合いに紹介して頂ければ嬉しいです。今後も新規購読者の推進にご協力をお願い致します。

No,134 『白鳩』「特集2 (ルポ) 暮らしの中の脱プラスチック」久美浜大宮総連：瀬戸良子様、

No,134 『いのちの環』「俳壇」綾部総連：大槻紀子様が、掲載されています。

聖使命会員拡大

合掌、ありがとうございます。

日頃は、聖使命会員拡大にご協力頂き、ありがとうございます。皆様の真心が地球の裏側にまで届き、人々を救っています。今月も1人でも多くの方に御縁を結ぶお手伝いをさせて頂きましょう。

支部・誌友会・会員

6月。梅雨ですね。晴れ間に誌友さんを訪ねてみてはいかがでしょうか。常に天候に感謝している人は、お出かけの時に必ず天気が良くなります。常に感謝ですね。ありがとうございます。

<うちんとこの誌友会>

ありがとうございます。久美浜大宮総連です。コロナ禍で支部長会議も誌友会も開催出来ない中で、スマホの活用が出来ていなくて、このままでは他の総連に遅れをとるのでは… 何とかしたい気持ちが日一日と強くなって来ました。早急にZoomの使用方法を教えて頂く為に部長先生に来て頂き、5名のスマホ使用者が参加しました。その結果、数日後に母親教室と支部長会議をZoomで4名の参加で開催する事が出来ました。有意義な会議となり、一歩前に出ることが出来たことを皆で喜び合いました。

令和3年6月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜
(道場休館日) 17日振替		先祖供養祭(10時)【ライブ配信】	(相) 正副・地区連会長会議(10時)【ネットフォーラム】		五者会議(10時)【ネットフォーラム】	(道場休館日)	(教区) 献労(10時) 有志のみ						(道場休館日)		聖使命感謝奉納祭	本部・教化部行事
																教化部長
休み	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	早朝行事担当

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	日
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜
六月晦大祓式		(自) 総連会長・対策部長担当会議(10時30分)【ネットフォーラム】	(講) 地方講師・光栄一日研修会(10時)及び同役員会(10時50分)【ネットフォーラム】	浄心行(10時)【ライブ配信】		(道場休館日)	(自) 正副会長会議(10時)【ネットフォーラム】	評議員会・幹事会(10時)【ネットフォーラム】	普及誌仕分け	生命学園(11時)【ネットフォーラム】		住吉神社六十一年大祭(10時)【ライブ配信】	谷口雅春大聖師三十六年祭(10時)【ライブ配信】	本部・教化部行事
														教化部長
河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	早朝行事担当

☆五者会議、各組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、谷口雅春大聖師三十六年祭、先祖供養祭、住吉神社六十一年大祭、浄心行はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、ご利用ください。

☆お賽銭ありがとうございます
21,003 円

☆生物多様性募金ありがとうございます。
1,400 円

☆浄心行奉納ありがとうございます。
2,000 円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について

4月25日より京都府では緊急事態宣言が出されるなど日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況です。道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。